

はじめに

県内企業の皆様におかれましては、日頃から、長崎県窯業技術センターをご利用いただき誠にありがとうございます。また、産業界をはじめとする関係者の皆様には、当センターの事業推進にご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

100年に一度と言われた経済危機の影響はまだ本県経済に強く残っており、依然として厳しい状況が続いています。こうした環境の中、県内の中小企業と直に接することが多く、直接企業の技術的な課題解決を支援する公設の試験研究機関の役割はますます大きくなっていくものと考えます。

長崎県には、工業系の研究機関として工業技術センターと窯業技術センターがありますが、この2つの研究機関のあり方についての検討が平成20年度から2年間行われました。この中で、当センターのこれまでの取り組み、今後の方向性も検討され、今年度から新たな取り組みも始まっています。

当センターは、陶磁器産地に立地し、技術指導を長年行ってきたという歴史的な背景もあり、技術支援に力点を置いたサービスを提供してきました。平成20年度からは、2年間で現在の技術支援を質的にも量的にも充実させるという目標、「技術支援2年2倍増計画」を設定し、具体的な取り組みを進めてきました。

新たな取り組みとして、陶磁器分野では、陶磁器産業の生産プロセスをさらに強化することを目指しており、今年は石膏型、生地、上絵などの生産技術を向上させるための機器整備を図ることにしています。また、デザイン分野では、マーケティング機能を充実させることにより、企業の製品開発を総合的に支援するための組織を構築し、具体的な研究開発も行います。無機材料分野では、環境、リサイクル、水処理、資源、省エネルギーといった成長分野での取り組みを積極的に進めてまいります。

こうした支援を円滑に進めるため、企業支援データベースを構築しており、このデータベースに情報を集積し、さらに充実した企業支援を行えるよういたします。

いずれにしても、顧客あつての窯業技術センターです。気軽に利用していただくようお願いいたします。各種相談は直接センターを訪問されても結構ですし、電話でもメールでもかまいません。

本報告書は、平成21年度の業務を取りまとめたものです。関係各位の方々にご活用いただくとともに、ご意見をいただければ幸いに存じます。

平成22年9月

長崎県窯業技術センター
所長 振角 俊一